

ちいきの大学



22号

Contents

- 地域連携フォーラム
- 学校教育支援部門の活動
- 企業連携部門の活動
- 地域活性化部門の活動
- 学生の地域での活動
- 2025(令和7)年度 愛知教育大学一般対象公開講座 開設一覧

愛知教育大学は教員養成に特化した広域拠点型教員養成大学として、広く社会と連携し、教育研究の成果を還元しながら社会の発展に貢献します。

広域拠点型教員養成大学としての
本学の責務を果たすため、
県外との連携も推進しています。



写真上から反時計回りに：

- 可児市教育委員会との連携協定締結
- 岐阜市教育委員会との連携協定締結
- 医教連携フォーラム 2024 in 岐阜の実施
- 桑名市との連携協定締結
- 川越町との連携協定に基づく教員派遣



地域連携フォーラム

2月8日(土)、刈谷市総合文化センターにて地域連携フォーラム2024を開催しました。本フォーラムは「未来をともに創る私たちのSDGs」をテーマに掲げ、これからの未来を担うユースの活動の推進を目的としています。本学の所在する刈谷市内にある全ての中学校・高等学校の代表生徒と大学生が中心となり、同市のよりよい未来を目指すべく実践発表やグループ協議を通じて交流を行いました。

開会前には、グループ毎に自己紹介を兼ねたアイスブレイクを行い、参加者を温かく迎える雰囲気の中、学生団体SAGAの学生が司会を務め進行していきましました。はじめに開会あいさつとして、野田敦敬学長から刈谷市内すべての中学校・高校から生徒が参加してくれたことへのお礼と、今後を担う生徒・学生への期待が語られました。続けて稲垣武刈谷市長から来賓あいさつをいただき、本学の大鹿聖公地域連携センター長から本フォーラムの趣旨説明がありました。

前半の実践発表では、刈谷市立依佐美中学校による避難場所や危険箇所の把握・共有を目的としたデジ防マップの作成についての発表、愛知教育大学附属高等学校サスティナ部によるカキツバタや竹などを研究テーマとした学び・伝え・かえる取り組みについての発表、愛知県立刈谷高等学校による理系・文系それぞれのアプローチから捉えた津波被害の抑制に向けた研究成果の発表、愛知県立刈谷北高等学校による生ごみを利用したバイオガス発電をとりまく現状と課題、今後の展望についての発表が行われました。どの発表も、生徒たちの取り組みへの熱意が垣間見える素晴らしいもので、参加者からも次々と質問や感想が挙げられていました。



後半のグループ協議ではウォーミングアップで自己紹介しあった7つのグループに再度分かれ、「AIは私たちを豊かにしているのだろうか。また、AIと共存していく中で将来どのような力を身につける必要があるのだろうか。」「私たちのまちに自然を増やす(減らさない)ためにはどのようなことができるのだろうか。」「どうして日本は働きがいの満足度が低いのか、そして将来、働きがいをもって働くために今私たちにできることは何か。」の3つのテーマをもとに、学生団体SAGAの学生がファシリテーターとなり、中学生・高校生・大学生の垣根を越えて意見交換を行いました。市内全ての中学校・高等学校の生徒が一同に会する機会は稀であることから、様々な考え方や提案に真剣に耳を傾けながら、グループとしての意見を創りあげていました。

各グループからの協議内容の報告を受けて、刈谷市役所の岡部直樹企画政策部長から、無理をしない範囲で自分にできることを実行していくことで、SDGsに向かって動いていくことになるというご助言をいただき、最後に本学の杉浦慶一郎連携・附属学校担当理事による閉会の言葉がありました。



参加者からは「高校生や大学生もいたので今までにない視点が多くあり、参加してよかったと思った。難しい問題だったけど意外と身近におきかえて考えてみると思いつくことがたくさんあって、話し合ってよかったなと思った。」「様々な年の人がいたからこそ知れた意見や、自分の今まで知らなかった取り組みについて知ることができ、これからの自分の生活にも活かしていきたいなと思った。」等の感想が寄せられ、これからの刈谷市を担う若者たちが一緒に意見を交わす中で、互いの考えを認め合い、皆でよりよい未来を目指す意識が醸成された有意義な会となりました。

学校教育支援部門の活動

豊橋南高等学校教育コースとの連携

地域連携センターでは、愛知県教育委員会との相互連携協定に基づき、県立高校教育コースと連携した教育活動を実施しています。

この活動の一環で、4月24日(水)に豊橋南高校教育コースの生徒たちが、本学の講義に参加しました。生徒たちはそれぞれが希望する大学の授業を受講し、「点字の応用」では、基礎を習得した本学学生から点字についての説明を受けた後、各教科の点字資料の作成体験として、算数プリント作成の実践授業に取り組みました。「初等音楽科教育内容」では、小学校の音楽科の授業で取り扱われている活動の意義を学ぶため、大学生とグループでリズムクラッピングを行いました。授業に参加した生徒からは「小学校の授業の内容を、教師としての視点を踏まえ体験することで、子どもたちの理解の難しさに気づき、どのように教えるべきか考え、勉強となった」との感想がありました。

また、教育コースの個人課題研究中間発表会では、ファシリテーターとして地域連携センター教員が入り、グループに分かれて、生徒が一人ずつ研究の現状を報告し合いました。生徒同士の質疑応答や意見交換、センター教員からのアドバイスを通じ、探究活動の方向性について、生徒それぞれが改めて考える機会となりました。同高校の教育コース出身の本学学生たちも後輩の様子を見守り、終了後に交流するなど、つながりの中で刺激を受け高め合う関係が築かれています。



豊橋南高校 本宮先生からのメッセージ

本校教育コースは平成30年度に開設され、7年が経ちました。初年度から本校教育コースのために多大なるご支援をいただき、感謝しています。

生徒たちは大学の先生や学生と関わることで、愛知教育大学で学びたい意欲が高まり、教育コースから毎年10名前後の生徒が進学をしています。入学後も引き続きご支援・ご指導をいただき、将来は教育現場で活躍できる立派な教員になってくれると期待をしています。



豊田高等学校高大連携進路探究に参加

6月11日(火)、愛知県立豊田高等学校の3年生の進路探究授業に、学校教員養成課程義務教育専攻学校教育科学専修4年の学生が講師として参加しました。2021年から実施されているこの取り組みは、進路選択のきっかけや大学での学びについて現役大学生から直接話を聞くことで進学意欲を高めることを目的としており、昨年度の講座に参加した高校生が本学へ進学した実績もあります。

講師を務めた竹内晴輝さんは、大学で面白かった授業の話などをテンポよく語りかけ、明るい雰囲気で行いました。もう一人の講師の齊藤柚さんは、教員を目指した中学校当時の気持ちや高校時代の勉強方法、大学選択の決め手など、高校生の今の疑問に真摯に答え、エールを送りました。

「学びたいことや進学する大学について迷っている高校生もいるかと思う。やりたいことが分からないと思ったときに、自分を見つめ自分を知ることが将来の夢を考えるきっかけになる」と、講座の後半では自分を表す言葉やその言葉の説明、象徴するエピソードを考えるワークを行いました。

キャリア教育を専門とする学生らしく、しっかりと高校側の実施意義に応える充実の内容でした。



教育科学専修4年 齊藤さんからのコメント

高校3年生の夏という、入試を具体的に見据える時期の生徒と交流できたのは貴重な経験でした。

まだ興味関心が明確化されていない生徒もいて、なるべく素朴な話をしながら伝えたいことを話しました。進路だけでなくアルバイトや趣味の話も上がり、和やかな雰囲気でした。彼らにとっては選択肢の1つにすぎない私のキャリアですが、今回の交流を通して、入試やその先のキャリアを少しでも豊かにしてくれると嬉しいです。



企業連携部門の活動

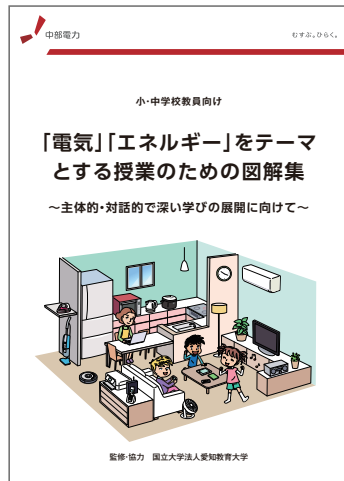
中部電力とともに教材開発

本学と中部電力は相互連携に関する協定を締結し、エネルギー教育等に関するプログラムの開発などで連携しています。その一つとして、中部電力が発行する『「電気」「エネルギー」をテーマとする授業のための図解集』の作成に協力しています。今回、本学教員を中心とするプロジェクトチームがこの改訂を行いました。

今回のように企業とともに行う教材開発では、その題材として具体的な実社会の課題を扱います。このため、子どもたちが各教科で得た学びを横断的に活用することが期待されます。また、今回の改訂においては図解集とともに指導案も作成しており、授業を行う教員の使いやすさにも配慮し、学年・教科に応じた並びとなるように整備しました。

プロジェクトチームには本学教員のほかに附属学校をはじめとする現職の先生方と本学教職大学院生3名も参加しました。今回の図解集に基づく指導案作成は大学院生にとって、その過程で複数の指導案に触れることや自ら作成することを通して、授業を外側から考える経験、内側から考える経験、それぞれの視点を踏まえつつ多面的に考える機会となりました。

今後も、本学では企業との連携を通して、子どもたちの豊かな学びにつながる教材開発を進めます。



図解集及び指導案は
下記の中部電力HPから
ダウンロードが可能です。



https://www.chuden.co.jp/kids/education/zukai_gakushuu/

教職大学院教科指導重点コース 大内さんからのコメント

中部電力の図解集・学習指導案改訂プロジェクトに参加し、教科書や資料集にはない中部電力ならではの資料を用いて、授業案を作成しました。

図解集の資料は、電力会社の専門的な内容がわかりやすく工夫されており、指導案もアップデートしたことで、子どもたちがエネルギーについてより楽しみながら学べる授業づくりを目指しました。

また、中部電力ならではの中部地方に関連する資料などもあり、地域と結びついた授業にできるのではないのでしょうか。このように、企業との連携を通じて学びを深める経験ができ、今後も外部の人材や情報を積極的に活かし、授業づくりに励んでいきたいと思いました。

角文株式会社とともに実施する「川の環境学習」

6月4日(火)、地元の企業である角文株式会社が刈谷市立富士松南小学校4年生を対象として実施した「川の環境学習」に、本学学生も活動支援として参加しました。120人の児童を対象とする川の学習は、安全面の配慮など学校単独で実施するには難しい面もありますが、地域の企業や本学の学生が支援することで継続した活動となっており、今年で15年目を迎えます。

参加者は、逢妻桜橋周辺の逢妻川流域で、にがり、透明度、pH、COD、川の流速などの調査を行った後、実際に川に入って生き物調査やごみ拾いを行いました。

ベンケイガニや鮎の稚魚、ボラの稚魚などの生物が見つかった一方で、川底にはたくさんのゴミも落ちていました。



拾ったゴミを分別すると、お酒の空き缶、栄養ドリンクの空き瓶、大きな長靴、車のミラーなど大人が出したであろうゴミが圧倒的に多く、小学生の子どもたちからは「大人はポイ捨て禁止というのに、卑怯だ!」といった感想も上がりました。

美しい地球環境を次世代につないでいくために、様々な関係者が実践を通して、ともに学ぶ場となりました。



角文株式会社 SDGs推進室様からのメッセージ

この活動は当社の社員の他、長年協力頂いている愛知教育大学の学生さんが「先生」となって活動の授業をします。限られた時間内で小学生へ伝わる説明の工夫や、安全配慮など気遣うことは盛りだくさん。説明の熱意が子供たちに伝わり笑顔あふれる体験となっています。

川の水質検査や生息する生き物の観察を行ったり、捨てられたゴミが地域環境へ与える影響を、この活動を通じて感じることで子供たちの将来の地域環境がより良くなっていくことを望んでいます。

小学生への「感性を鍛える」体験となるとともに、今後先生を目指す愛教大の学生の皆様への学びの場となっていれば幸いです。



地域活性化部門の活動

学生が商店街振興組合等と連携し情報誌作成に挑戦

本学、刈谷市、刈谷商工会議所、刈谷駅前商店街は、刈谷市中心市街地の活性化を図るため平成21年度から四者で連携協定を締結しています。この協定の一環として、本学学生が刈谷駅前のマップ作りを行いました。

まず7月4日(木)、刈谷市が主催となり、本学において学生と刈谷駅前商店街振興組合の関係者が参加しまちづくりについて考えるワークショップを実施しました。学生は「刈谷駅周辺にこんなものがあたらいい」、「駅周辺でこんなことをしたい」とさまざまな意見を出しました。



10月18日(金)には、まちづくりかりやの職員の案内で刈谷駅前を散策し、商店街の現状や賑わいづくりのための取り組みについて理解を深めました。

その後学生は、刈谷駅前の魅力として、おしゃれなカフェや気軽に利用できる公共施設など、心地よく滞在できる施設がたくさんあることを発信したいと、駅前マップの作成に挑戦しました。このマップは刈谷市駅前商店街の広報誌AQUAの特別号として発行されました。



刈谷市役所まちづくり推進課 宮田様からのメッセージ

刈谷駅周辺は居酒屋が多いため、サラリーマンの街・夜の街というイメージが強く、「おじさんの街」という声すら時折耳にします。刈谷市としては、愛教大生はもちろんのこと、老若男女様々な方に刈谷駅を使っていただきたいと考えており、現在足りていない「若者目線」を取り入れたまちづくりを目指しています。

今回は刈谷駅周辺のランチマップを作成しました。愛教大の皆さんはデザイン担当、取材担当に分かれ、意欲的に活動してくれました。



井ヶ谷町新春ウォーキングの行事協力

1月5日(日)、井ヶ谷町内会主催の「井ヶ谷町新春ウォーキング」が本学構内で開催されました。

これは本学体育館が井ヶ谷町の緊急時避難場所となっていることから、本学をウォーキングコースとして開放したもので、本行事は、井ヶ谷住民の健康促進や多世代間のコミュニケーションの場となっています。運営には学生団体の「かきつばたの民」が協力をしており、学生はラジオ体操の指揮やコース上の案内などを担当しました。

野田敦敬学長も毎年参加しており、開始前のあいさつで「ラッキーセブンの年なので、幸せの多い一年としたいです」と抱負を語り、地域の方とお話しながらロングコースのウォーキングを行いました。

大学構内では、非常発電機や応急給水施設などの様々な災害用設備を巡りました。防災備蓄倉庫前では、過去の他地区での災害対応や、自助としての日頃の備えの見直しについて地域の方からお話がありました。

地域とともにある大学として、地域の方々との関係が一層深まる有意義な機会となりました。



かきつばたの民 江村さんからのコメント

たくさんの方々とお話できて、楽しい時間でした。

地域の方から「一緒に歩いて楽しかったよ」、「射的やっていな」、「ラジオ体操良かったよ」など嬉しい言葉をたくさんいただきました。声を掛けてくださった方々、ありがとうございました。

かきつばたの民に参加してから、地域の方々と関わらせていただく機会が増えました。

みなさんに良くしていただいていた、井ヶ谷町の温かさを感じています。

かきつばたの民を今後もよろしくお願いいたします。

学生の地域での活動

刈谷グローバルフェスタを開催

県内の大学生等のグループによるSDGsの優れた取り組みアイデアをモデル事業として支援する愛知県の事業「あいちユース SDGs IDEA & ACTION」に、理科教育講座大鹿教授の研究室の学生が提案したアイデアが採択されました。愛知県や地元の刈谷市、本学地域連携センターと協働しながら、地元企業や関係諸団体にも協力依頼を行い、「刈谷グローバルフェスタ」としてこのアイデアを実現しました。

5月～6月
大学生等による
SDGsのモデル事業
企画書を愛知県へ提出

7月
採択決定
(16件の応募があり
5件が採択)

8月～11月
フェスタ準備
(会場の下見や企業
との調整)

12月21日
グローバルフェスタ
当日の運営



代表:高山 隼汰さん

なぜ、この企画を考えたの？

普段は、SDGsの教材開発などを研究室で行っています。台湾からの留学生が研究室の仲間として配属されたことがきっかけで、外国の方との交流とSDGsの普及啓発が同時に出来るイベントを行いたいと思いました。

この企画を実施してみてどうでしたか？

企業や行政の実施するイベントに参加する経験はこれまでもありましたが、自分たちで企画を1からつくるとははじめてでした。協力企業さんとの調整など、はじめての経験でしたので難しいと感じることもありましたが、とても勉強になりました。

今後に向けては・・・？

地域や社会とのつながりは、学校で課外活動や探究活動を行う上で、重要となっています。子どもの興味関心を引き出せるように、今回の経験を生かしていきたいです。

当日のレポート



ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

- ◎角文(株)
間伐材からネームプレート作り
- ◎シーホース三河(株)
選手の握力体験会・フードドライブ
- ◎アサヒ飲料(株)
SDGsスタンプラリー飲料提供・パネル展示
- ◎(株)折兼:キッチンカー容器提供・パネル展示
- ◎トヨタ車体(株):パネル展示
- ◎刈谷市民協働課
輪〜んど! ビレッジ小垣江:フィリピン文化紹介
VNK:ベトナム文化紹介
- ◎愛知教育大学留学生の皆さん
韓国、中国、台湾の文化紹介

日頃から、研究室で個別に各所と連携する活動はしていましたが、学生自身で、主体的に地域と協働し事業をプロデュースすることはありませんでした。

研究室の3年生だけでこのようなイベントが主催できるのか、大変不安でしたが、協力いただいた皆さんのおかげで、学生も奮闘して、とてもいいイベントが開催できました。

今回の成功を糧に、地元刈谷をもっと盛り上げる活動へとつなげていってもらいたいと思います。



指導者:大鹿 聖公教授

茶道部が知立駅前暫定広場にて「青空お茶会」実施

5月3日(金・祝)知立駅前暫定広場で行われた「知立ドリームマルシェ」のイベント内で、本学茶道部が「青空お茶会」を実施しました。

昨年11月に知立市が主催した「知立駅周辺エリアまち育てワークショップ」に茶道部代表の稲垣英怜奈さんが参加したことが参加のきっかけです。

初夏の訪れを感じる絶好の野点日和(のだてびより)に多くのお客様が訪れました。部員がお点前(てまえ)を披露した後に、自分で点(た)てた抹茶を楽しんでもらおうと体験型にしたこともあり、お抹茶が初めてという家族連れなどさまざまな方が、部員の手解きを受けて笑顔でお茶を楽しみました。

今回のイベントは、お茶を囲んだ地域交流・世代間交流の良い機会となりました。



三河プログラミング大会を開催

本取り組みは、学校教員養成課程義務教育専攻ICT活用支援専修4年の高須慈さんが発案したもので、「三河プログラミング大会実行委員会」を立ち上げ、地域連携センターと共同で初めて開催しました。三河地区に在住・在学・通塾している小・中・高生を対象として、オリジナルのプログラミング作品を募集し、アイデアやプログラミングのスキル、プレゼンテーション力を審査するとともに、互いの作品を通して、交流できる大会としました。

7月～8月
仲間集め
企画の検討
関係者間の調整等

9月～11月
作品募集
イベントとして
体験会の実施

12月～1月
エントリー作品の
一次審査
最終審査会の準備

2月1日
最終決戦
当日の運営



代表:高須 慈さん

なぜ、この大会を行いたいと思った？

学生ICT支援員としてこれまで子ども向けのプログラミング体験講座に関わる中で、子どもたちが継続してプログラミングに取り組む機会を増やしたい！自らの出身地でもある三河地区を盛り上げたい！という思いとプログラミングの分野においても子どもたちが繋がりをもっと、切磋琢磨できる機会を作れないかとの思いから大会の実施を試みました。

大会を振り返ってどうでしたか？

このイベントは、決して1人ではできなかったと思います。実行委員として支えてくださった中池先生をはじめ、サポートしてくれた学生ICT支援員の仲間たちのおかげで開催できました。作品の応募が届くたびに嬉しかったし、大会後に参加者から「プログラミングについて話せる友達が近くにいなかったのが今日は楽しかった」との声をいただき、実施して良かったと思いました。

今後に期待することは？

子どもたちがプログラミングを通じて活躍し仲間をつくる機会があるとよいと思うので、後輩たちが引き継いで大会が継続して開催されることを期待しています。

当日のレポート



U12 最優秀賞 黒田 創さん



U18 最優秀賞 清水 翔馬さん

協力企業

◎丸善雄松堂(株):副賞提供

「子どもの活躍の場を増やして生まれ育った地域を盛り上げたい」という学生の思いから始まり、民間企業や他大学教員の協力も得て開催しました。昨今はSNSの普及により、他者の優れた作品を見て自信をなくす子も多いと聞きます。そこで、子どもたちが作品で競うだけでなく、作品を見合せて互いに交流する時間も作り、仲間がいることの心強さを体験できる大会を意識しました。今回の成功を糧に今後も継続的な開催を目指します。



指導者:中池 竜一准教授

吹奏楽部がアンサンブル演奏を披露

9月22日(日)に、イオンモール東浦で開催された「カルチャーフェス2024～地域のみんなで育てよう～」に、本学吹奏楽団がアンサンブル演奏でステージ出演しました。

椅子がやっと埋まる人数での演奏開始と思われましたが、トランペットの元気な演奏が聞こえると、楽しい雰囲気誘われて多くの観客が集まりました。

吹奏楽団の皆さんが用意した手作りマラカスやステッキは子どもたちに大人気！手話と一緒に歌おうとの声かけに、会場全体に一体感が生まれました。

その様子を見ていたイオンモール東浦セントラルコート担当者の方からは「曲や時間配分も、すべて学生たちが考えたのですか？ 楽しめる工夫に、落ち着いた優しい司会進行に感心しました」とお褒めの言葉がありました。



2025(令和7)年度 愛知教育大学一般対象公開講座 開設一覧

	講座名	対象	開催日・会場
刈谷市	パラスポーツ「SITTING VOLLEYBALL (座位バレーボール)」を学ぼう！	①小学生とその保護者6組、 ②小学生以上20人	開催日:7/30(水) 会場:刈谷市南部生涯学習センター
	grow up教室 一よりよい成長のための生活を考えようー	小学生・中学生 (小学3年生以下は保護者同伴)	開催日:8/1(金) 会場:刈谷市総合文化センター
	「親子で作ろう! 夏休みニュース新聞」	小学生(保護者同伴)	開催日:8/6(水) 会場:刈谷市総合文化センター
知立市	身のまわりのもので遊びを創ろう	年長から小学3年生の親子	開催日:8/8(金) 会場:知立市中央公民館
豊明市	みんなで楽しく合唱しよう	どなたでも	開催日:7/6(日) 会場:豊明市南部公民館
	不思議な現象を算数・数学で読み解こう！	小学生4年生から中学生 (小学生は保護者同伴)	開催日:11/22(土) 会場:豊明市南部公民館
安城市	親子で学ぶ南極観測	小学生以下の親子	開催日:7/21(祝) 会場:へきしんギャラクシープラザ
	のびのび歌おう♪	小学生・中学生	開催日:7/25(金) 会場:へきしんギャラクシープラザ
碧南市	愛知県の湧水湿地を知ろう	小学3年生から一般 (小学生は保護者同伴)	開催日:6/14(土) 会場:碧南市文化会館
	プラバンでキーホルダーをつくろう！	幼児・小学生(保護者同伴)	開催日:12/7(日) 会場:碧南市文化会館
高浜市	月経に関連する悩みと対処法 ～健康に過ごすために知っておきたいこと～	中学生以上	開催日:6/1(日) 会場:吉浜交流館
みよし市	ライフステージとメンタルヘルス	どなたでも	開催日:5/20(火) 会場:おかよし交流センター
	本当はスゴイ「自己啓発本」	どなたでも	開催日:7/26(土) 会場:サンライブ
名古屋市	プログラミングでマイクラ建築に チャレンジ！	小学3年生から6年生まで (保護者同伴)	開催日:8/23(土)・24(日) 会場:イーブルなごや
愛知県生涯学習推進センター	発達障がいのある人の世界を知ろう	発達障がいのある人に関わる方	開催日:7/12(土) 会場:愛知県生涯学習推進センター

詳細は本学ホームページ（下記URL）にてご確認ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/lecture.html>



広告



刈谷市制施行75周年

わたしたちの夢と共にはばたくかりや

刈谷市は昭和25年4月1日に市制を施行し、令和7年4月1日をもって75周年を迎えます。主な記念事業を紹介しますので、多くの方のご来場をお待ちしています。

- 7月24日(木)～27日(日) 第5回アジアパラ競技大会車いすラグビーテスト大会(ウィングアリーナ刈谷)
- 8月26日(火) 令和七年夏巡業大相撲刈谷場所(ウィングアリーナ刈谷)
- 8月31日(日) 文化工房かりや企画公演 市民劇(刈谷市総合文化センター)
- 9月28日(日) 東京フィルハーモニー交響楽団コンサート(刈谷市総合文化センター)
- 11月1日(土) KARIYA 大演会 音楽フェス(亀城公園)
- 2月1日(日) 刈谷サッカーフェスティバル(ウェーブスタジアム刈谷 他)

ふるさと納税で、
愛知教育大学を
応援しよう!



詳しくは刈谷市
ふるさと納税HPへ!